

倉敷市立児島病院改革プラン評価委員会
資 料 編

平成24年3月27日

倉敷市立児島市民病院事務局

職 員 の 状 況

職 種	H21. 4. 1	H22. 4. 1	H23. 4. 1	H24. 1. 1	H24. 4. 1
					予定
医師(常勤)	14(1)	13(1)	13(1)	12(1)	15(1)
看護師	62(16)	71(9)	70(8)	67(10)	69(8)
薬剤師	3	3(1)	3	3	3
放射線技師	5(1)	5(1)	5	5(1)	5(1)
理学療法士	4(1)	4(1)	6	6	6
作業療法士	2	2	3	3	3
言語聴覚士			1	1	1
臨床検査技師	3	3	4	4	4
管理栄養士	1	1	1	2	2
MSW	2	2	3	3	3
事務員	7	7	8	8	8
合 計	103(19)	111(13)	117(9)	114(12)	119(10)

※()内は、産休、育児休暇、休職中などの職員数

※その他、嘱託・臨時職員が63名在籍(平成24年1月1日)

経営効率化に係る改革プランの数値目標(税抜)

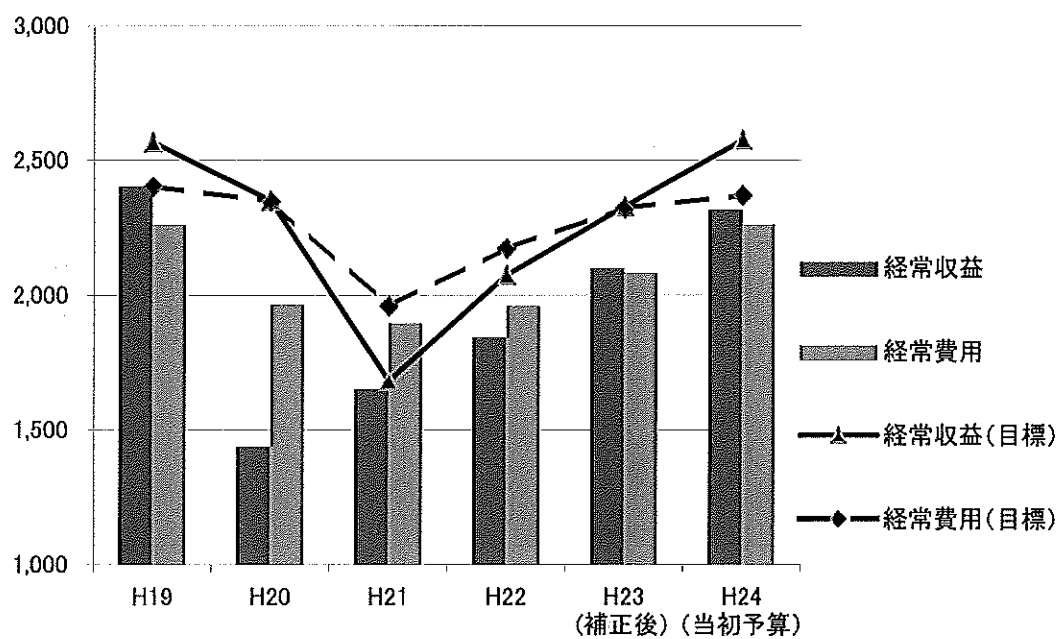
区 分	H18	H19	H20	H21	H22		H23		H24	
	(決算)	(決算)	(決算)	(決算)	(目標)	(決算)	(目標)	(補正予算 後)	(当初目標)	(当初予算)
収支改善	経常損益額(千円)	41,374	140,943	△ 527,282	△ 245,977	△ 97,997	△ 116,867	16,600	206,964	55,459
	経常収益(千円)	2,565,308	2,402,879	1,436,415	1,648,485	2,075,204	1,841,971	2,098,689	2,577,126	2,316,548
	(うち、一般会計からの繰入金)	168,109	163,969	105,965	144,653	137,393	132,914	165,513	149,393	181,509
	経常費用(千円)	2,523,934	2,261,936	1,963,697	1,894,442	2,173,201	1,958,638	2,082,089	2,370,162	2,261,089
	経常収支比率	101.6%	106.2%	73.1%	87.0%	95.5%	94.0%	100.2%	108.7%	102.5%
財務の内容の改善に係る指標	医療収支比率	102.0%	107.0%	69.5%	83.7%	91.9%	92.4%	95.4%	105.0%	97.5%
	職員給与費 対 医療収益比率	61.5%	58.8%	89.8%	72.2%	63.8%	67.9%	64.0%	55.7%	63.1%
	材料費 対 医療収益比率	15.3%	14.9%	14.3%	15.7%	16.7%	14.2%	12.8%	15.3%	14.2%
	薬品費 対 医療収益比率	9.7%	9.3%	8.8%	10.3%	10.3%	9.7%	8.9%	9.6%	9.8%
	病床利用率	88.1%	81.6%	46.1%	54.5%	70.7%	66.4%	71.0%	83.6%	75.8%
収入確保	平均在院日数	21.3日	20.8日	20.2日	20.8日	21.0日	20.2日	21.0日	19.0日	20.0日
	1日当たり入院患者数	174.4人	161.6人	91.2人	108.0人	140.0人	131.5人	160.0人	165.0人	150.0人
	1日当たり外来患者数	404.6人	376.8人	251.7人	250.2人	300.0人	259.5人	293.6人	320.0人	320.0人
	入院・外来収入に対する未収金の割合	0.10%	0.15%	0.12%	0.08%	0.13%	0.11%	0.12%	0.10%	0.11%
	資金不足比率	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
経営安定性	現金保有残高(千円)	443,649	463,845	222,677	333,477	95,365	188,761	152,945	348,988	294,376
	4疾病5事業取り扱い項目数	5項目	5項目	5項目	3項目	4項目	3項目	4項目	5項目	4項目
医療機能確保に係る指標	臨床研修医の受入人数	3人	4人	3人	0人	0人	0人	1人	2人	1人
	収益的収入への繰入金	168,109	163,969	105,965	144,654		132,914	165,513		181,509
	資本的収入への繰入金	10,006	14,227	16,161	78,366		186,174	80,037		19,866
	繰入金合計	178,115	178,196	122,126	223,020		319,088	245,550		201,375

※特別利益、特別損益を加えて、収支改善の額を表示しています。

H24.2/24作成

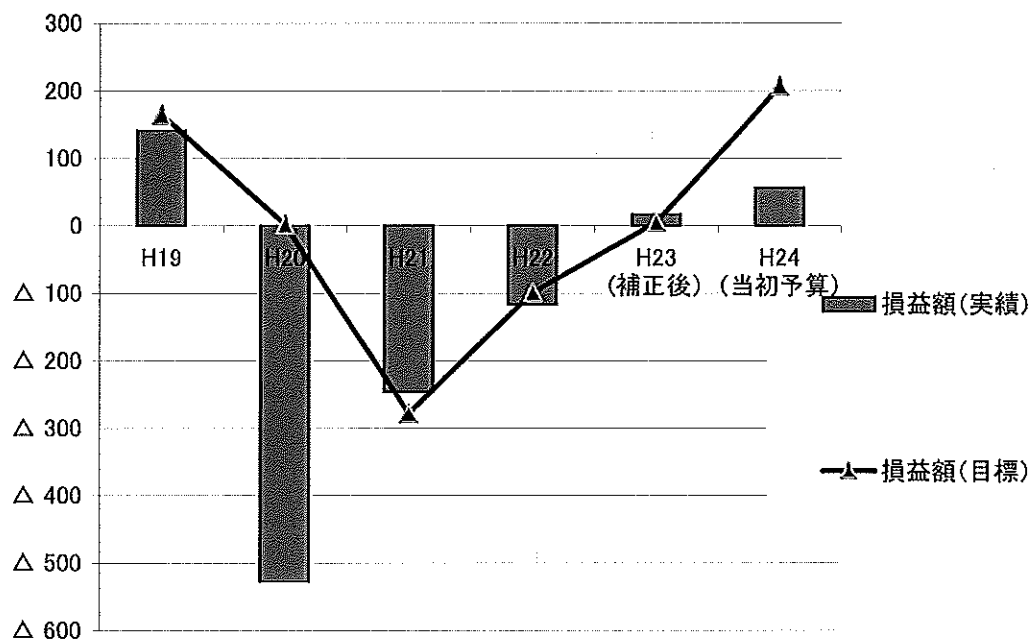
(百万円)

経常収支



(百万円)

損益の推移



I 児島市民病院の果たすべき役割についての取組み

取組項目	取組内容	指 標	H21 実績	H22 実績	H23 目標	H23 実績	H23 達成状況	H24 目標値	H23の取組実績	H24の活動計画	評価委員 指摘事項
初期救急医療	毎月第2・4日曜日の当番日の患者数	患者数	1,412	1,522	1,450	1,690	※2 B	2,000		引き続き実施	
	時間外の救急患者の受入	救急車による受入患者数	254	298	300	271	※1 B	330	積極的に受け入れる。	引き続き実施	
専門性を活かした医療	診療科の開設	診療科数	—	—	—	—	A	—	診療を充実するため、4月に形成外科、脳神経外科を開設した。12月に脳卒中科を設けた。	引き続き、診療の充実を図る。	
	地域医療連携の強化	開放病床未利用患者数	75	37	50	36	※2 B	50	MSWを1名採用し、3名とした。	引き続き病棟連携、病診連携を行う。	
連携を活かした医療	診療所からの患者紹介数	患者紹介数	1,843	1,861	1,950	1,755	※2 B	2,000	紹介診療所、紹介数を会議で報告している。	引き続き実施	
	診療所等への患者紹介数	患者紹介数	1,126	1,083	1,200	885	※2 B	1,250	紹介診療所、紹介数を会議で報告している。	引き続き実施	
周産期医療	産科の再開		—	—	—	—	C	—	産科医師の招へいを行った。	引き続き実施	
	院内助産所・助産師外来の検討		—	—	—	—	C	—			
小児医療	毎月第1・3土曜日の休日診療	患者数	—	241	300	464	※2 A	—	平成23年11月、小児科医師の死亡退職により小児科診療は中止。	内科は引き続き実施	
	新夜間診療の受診者数	患者数	—	—	—	901	※2 B	1,100	月・水・金曜日の診療を午後6時まで延長	引き続き実施	
予防医療	健康診査	健康診査者数	2,755	3,296	3,400	3,588	※2 B	3,700	毎日健診が行えるように変更した。	ホームページで周知する。	
	特定健康診査	特定健康診査人数	105	136	150	181	※2 A	200		引き続き実施	
教育・養成機関	生活習慣病健診	生活習慣病健診	472	429	500	497	※2 B	530		引き続き実施	
	リハビリ実習生の受入	研修生受入数	21	22	25	25	B	28		引き続き実施	
	看護実習生の受入	研修生受入人数	71	80	85	65	A	85		引き続き実施	
	中学校・高等学校体験学習の受入	体験学習受入人数	23	20	25	23	B	27		引き続き実施	
	臨床研修医の受入	臨床研修医の受入人数	0	0	1	1	B	1		引き続き実施	

※の数字は月を示し、平成23年度のその月までの達成状況を示す。
達成状況 A: 目標以上 B: 一定の実績 C: 実績なし

Ⅱ 医師招へいに係る取組み

取組項目	取組内容	指 標	H21 実績	H22 実績	H23 目標	H23 実績	H23 達成状況	H24 目標値	H23の取組実績	H24の活動計画	評価委員 指摘事項
医師の招へい	岡山大学、川崎医科大学に対し、医師の招へい活動を行った。	常勤医師数	14	13	17	13	C	21	岡山大学、川崎医科大学に対し、医師の招へい活動を行った。	引き続き実施	
研修会等への参加	学会・研修会への参加	学会への参加 医師数	15	20	23	23	B	25		引き続き実施	
実績に応じた給与制度	医師の特別勤務手当を改正した。		—	—	—	—	B	—	条例を改正し、出来高払いに適した制度を実施している。	引き続き、出来高に 応じた給与になるよ う、検討する。	
女性医師が勤務しやすい環境づくり			—	—	—	—	C	—	女性の常勤医師が不在のため、 取組実績なし	院内保育所の開設を 目指す。	
暴力患者等への対応	警察OBの採用 患者・職員の安全 対策	採用人数	—	1	1	1	B	1	院内を巡回し、声掛けを 行った。	引き続き実施	
	経営会議の開催	経営会議の開催 回数	—	—	—	—	B	—	110番非常通報装置の設置	非常通報装置の訓練 を行う。	
	職員の経営参画意識の醸成	院長メッセージの発信数	—	1	1	1	B	1	市長を交えて会議を行った。 市長・副市長を交えて 会議を行う。	市長・副市長を交え て会議を行う。	
経営の強化	職員の経営参画意識の醸成	院長メッセージの発信数	—	1	1	1	B	1	4月に平成23年度の目標・ 方針が示された。	H24.3.19の拡大運営 会議で平成24年度の 方針が示された。	
	看護科職員の経営参画意識の醸成		—	—	—	—	B	—	入院患者数に応じたベッドコン トロールを看護科で行うように した。	引き続き実施	

※の数字は月を示し、平成23年度のその月までの達成状況を示す。
達成状況 A:目標以上 B:一定の実績 C:実績なし

Ⅲ 患者サービスに対する取組み

取組項目	取組内容	指 標	H21 実績	H22 実績	H23 目標	H23 実績	H23 達成状 況	H24 目標値	H23の取組実績	H24の活動計画	評価委員 指摘事項
患者満足度の 向上	接遇の向上、患者本位 の医療等の提供	研修参加者数	—	156	170	155	B	160	外部講師による接遇研修（6 回）を実施	患者サービス向上委員会 を主体として引き続き実 施	
	ご意見箱の活用	ご意見の数	32	50	45	78	※2 B	50	患者からの意見に対し回答を 公表するとともに、改善策を 実施し、CS向上に努めた。	引き続き実施 ※数字の小さい方がよ い。	
魅力ある職場 の実現	一体感、モチベーションの醸成	学術コミュニケーション参加 者数	77	147	150	138	B	150	年2回実施	引き続き実施	
	資格取得に対する支援	認定看護師の資 格取得人数	—	—	1	1	B	1	倉敷市立児島市民病院認定看 護師育成要領を定め、研修に 参加させた。	がん・化学療法認定看護 師の資格取得を目指す。	
自主研修の支 援	職員への会議内容の徹 底		—	—	—	—	B	—	院内委員会の議事録を全職員 に回覧している。	引き続き実施	
	研究研修費 看護科における全体研 修	研修研修費(千円)	4,246	3,648	7,740	3,830	B	6,135			
広報の充実	院内広報紙	研修の回数	14	30	33	30	B	35		引き続き実施	
		院内広報紙の発 行	—	—	6	7	B	6	4月から院内紙「赤レンガ」 を発行し、各診療所に配布し ている。	引き続き実施	
	ホームページの充実	HPへのアクセ ス件数	23,379	27,127	25,000	21,887	※2 B	25,000	ポランディア、職員の数値な ど積極的に情報発信をしてい る。	引き続き実施	
	シンボルマーク・キャラ クターの制定		—	—	—	—	C	—	新病院建築にあたり検討す る。	引き続き実施	
	新 健康講座の開催	講座参加者数	—	—	—	308	※2 B	360	外来患者を対象に健康講座 を開催した。	引き続き実施	
ボランティア 活動の推進	清掃ボランティアの実施	清掃ボランティア の延参加者数	128	375	400	323	※2 B	400	年5回清掃を行った。	引き続き実施	
	ボランティア委員会の設 置	院内ボランティア の登録数	—	—	—	10	B	20	2月から院内ボランティアを 開始した。	引き続き、賛同者を増や す。	
その他	売店の充実		—	—	—	—	C	—		経営主体である児島婦人協 議会と協議する。	
	患者満足度調査		—	—	—	—	C	—			

※の数字は月を示し、平成23年度のその月までの達成状況を示す。
達成状況 A:目標以上 B:一定の実績 C:実績なし

IV 経営の効率化

1 収入確保

取組項目	取組内容	指 標	H21 実績	H22 実績	H23 目標	H23 実績	H23 達成状況	H24 目標値	H23の取組実績	H24の活動計画	評価委員 指摘事項
病院運営の適 正化	月次フォローの実施	病床利用率(対 198床)	54.5	66.4	80.8	71.6	※2 B	75.8	運営会議、拡大運営会議で議 論、周知徹底を図った。	月次フォローの実施 (実績と比較し、対応 策の検討)	
	病床の管理	平均在院日数	20.8	20.2	20.0	18.5	※2 B	17.5	病床管理状況を拡大運営会議等 に図った後、医局・病棟などに 公表した。また、病棟ごとに平 均在院日数を公表した。	引き続き実施	
	患者数の増加	1日あたりの入院 患者数	108.0	131.5	150.0	141.8	※2 B	150.0	拡大運営会議で病棟ごとに目標 を定め実施した。	引き続き実施	
		1日あたりの外来 患者数	250.2	259.5	300.0	293.4	※2 B	320.0	小児科の患者を増やすため、第 1・3土曜日を入院した。12月ま で	救急車の受入態勢を 強化する。	
	職員給与費の管理	職員給与費対 医 業収益比率	71.7	67.9	61.3	64.0	※2 B	63.1			
	放射線検査等の充実	MR I の件数	1,155	1,086	1,200	1,358	※2 B	1,600			
		CT の件数	2,080	2,882	2,500	2,730	※2 B	3,100	8月にCTを更新した。		
	臨床検査業務の充実	超音波断層撮影(エ コー)の件数	—	503	600	1,257	※2 A	1,500		引き続き実施	
	栄養指導業務の充実	入院・外来の栄養 指導件数	385	647	600	639	※2 B	700	10月からNST加算を開始し た。	引き続き実施	
	薬剤管理業務の充実	薬剤管理指導の件 数	1,322	1,594	1,450	1,924	※2 A	2,200		引き続き実施	
未収金の削減	窓口での未収金の削 減	窓口未収金額(千 円)	1,106	1,738	1,990	1,843	※2 B	2,000	滞納者に対して窓口で折衝を 行った。	引き続き実施	

※の数字は月を示し、平成22年度のその月までの達成状況を示す。
達成状況 A: 目標以上 B: 一定の実績 C: 実績なし

2 支出の削減

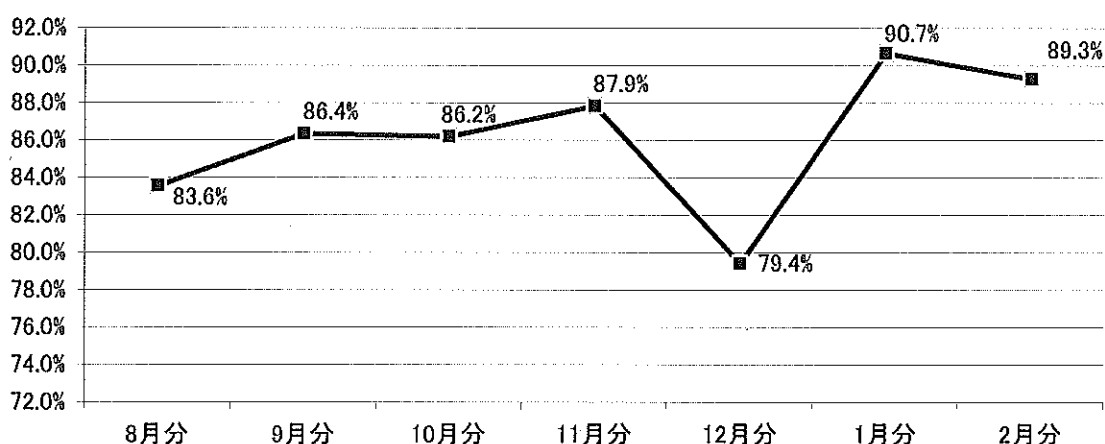
取組項目	取組内容	指 標	H21 実績	H22 実績	H23 目標	H23 実績	H23 達成状況	H24 目標値	H23の取組実績	H24の活動計画	評価委員 指摘事項
薬品費、材料 費の削減	後発医薬品を採用する	後発医薬品の品目 数の割合 (%)	7.0	9.5	12.0	15.1	B	20.0	後発医薬品を増やした。	引き続き実施	
		後発医薬品の購入 先	5	7	8	7	B	8		引き続き実施	
	薬品費比率	薬品費 対 医薬収 益比率	10.3	9.7	10.2	8.9	B	10.1	後発医薬品の品目を増やした。	引き続き実施	
	材料費比率	材料費 対 医薬収 益比率	15.7	14.2	16.2	12.8	B	12.5		引き続き実施	
その他の経費削 減	省エネルギー	使用電気量(千kwh)	1,927	1,975	1,950	1,627	※1 B	2,000	病院の室温を申し合わせる など、省エネに努めた。	引き続き実施	
		機密書類処理費(千 円)	98	74	80	74	B	75	機密文書の分別を徹底し た。	引き続き実施	
	ごみの減量化	感染性廃棄物処分 費(千円)	2,604	788	680	599	※2 B	650	感染性の廃棄物の分別を徹 底した。	引き続き実施	

※の数字は月を示し、平成23年度のその月までの達成状況を示す。
達成状況 A: 目標以上 B: 一定の実績 C: 実績なし

1 挨拶

- ① 自発的に、患者さん・患者家族・職員に挨拶をする。
すれ違う人に挨拶できていますか。
朝、患者さんに接する時、まず「おはようございます」から。
- ② 患者さんには進んで声をかけ、用件を伺う。
受付や詰所に来た人に、即対応してますか。
姿勢は正しいですか。
迷っている方を目的の場所まで案内していますか。
※体の不自由な方のファイルは職員が持ちましょう。
- ③ 明るく、気持ちよく、笑顔で対応する。
- ④ 相手の目や顔を見ながら話す。
- ⑤ 入室時：ノック → ドアを開ける前に「失礼します」 → 入室

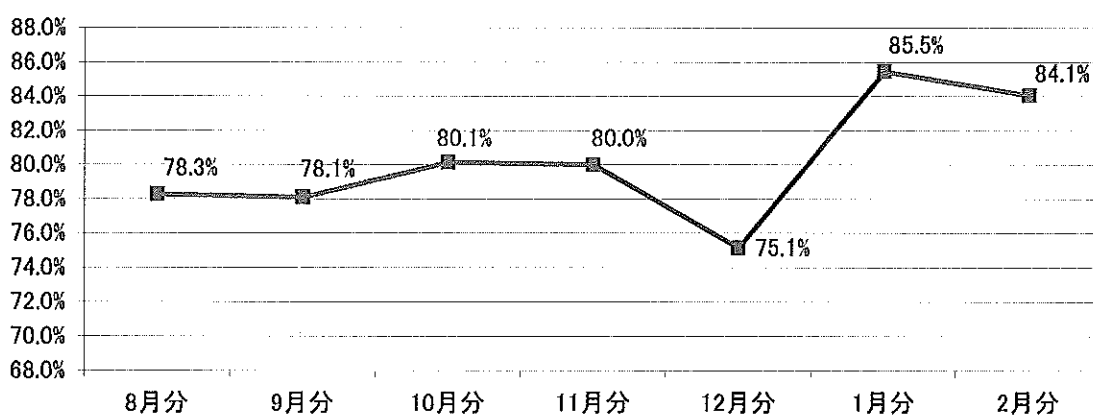
1 挨拶



2 言葉づかい

- ① 聞き取りやすい速さと大きさで、はっきりとした口調で話す。
忙しい時、早口にならず普段と同じ様に対応できていますか。
返事・うなずきをしていますか。
相手の状態に応じて話していますか。
- ② 敬語を適切に使い、丁寧な言葉づかいをする。
- ③ 専門用語を使用せず、相手が分かりやすい言葉で説明する。
- ④ 命令形・否定形・マイナス言葉を使わない。
- ⑤ 間違った時は、素直に謝罪する。「申し訳ございません」

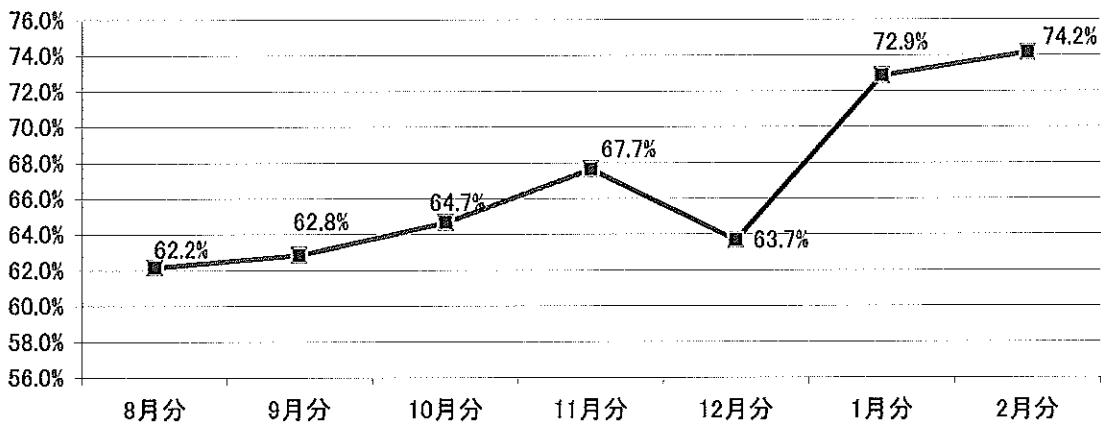
2 言葉づかい



3 電話マナー

- ① 3コール以内に出る。
3コールを超える場合、「お待たせしました」
- ② 受話時、所属と名前を名のる。
- ③ 内容を正確に把握する。復唱して確認する。
- ④ 取り次ぐ時は、内容を的確に伝える。
 - 相手の名称・連絡先・受話時間
 - 折り返しの電話（返事）が必要か。
必要な場合、連絡に適した時間帯の確認をしておく。
 - 伝達事項は復唱して確認する。
- ⑤ 電話をかけた時、相手は話ができる状況か尋ねる。
「今、お話しできますか。」「お時間は大丈夫でしょうか。」
- ⑥ 相手が電話を切ったことを確認してから、受話器を静かに置く。

3 電話マナー



4 マナー全般

- ① 雑談や私語を控える。
- ② 患者さんの話は入室してから。（個人情報の取り扱い）
- ③ 患者さんの目線に対応する。
- ④ 患者さんを優先する。患者さんの前を横切らない。
廊下・エレベーター・受付付近など

4 マナー全般

